

別府港湾・空港整備事務所通信

大分港で『令和元年

大分みなと祭り』が開催！

「世界に繋がる大分港とふれあうフェスティバル」をスローガンに11月10日（日）に大分港の大在公共埠頭で『令和元年大分みなと祭り』が開催されました。このイベントは、大分港の役割を知ってもらい、『みなと』に親しんでもらうことを目的として、昨年が続いて2回目の開催になります。

別府港湾・空港整備事務所からは、大分港の整備や熊本地震と西日本豪雨を事例としたTEC-FORCE等の港湾での災害対応について紹介するパネルの展示と、実際に熊本地震で入浴支援活動を行った浚渫兼油回収船「海翔丸」のペーパークラフトの配布を行いました。

当日は海上自衛隊呉警備隊の水中処分母船「YDT-04」と大分海上保安部の巡視船「やまくに」の一般公開の他、海保カレーの限定販売、小学生以下を対象とした約4kgの大きさのブリも含む魚のつかみ取り等が開催され、延べ6,171人が来場し、家族連れで賑わい、普段は近づく機会が少ない大分港の良いPRになったことと思います。



▲約4kgのブリが放たれた魚のつかみ取り



▲大分海上保安部の巡視船「やまくに」の一般公開に並ぶ人たちの列



▲当事務所のブースの様子